

2018年4月2日

岡部株式会社

岡部株式会社 総合実験センター竣工について

本施設は2017年4月に100周年を迎えた岡部株式会社が、次の100年（NEXT100：中期経営計画）に向けて建築分野・土木分野の総合的な製品開発を加速するために計画したものです。千葉工場内にあった従来の構造実験センターの約2倍の面積を有しています。試験棟内には反力床・反力壁を設け、実大の大型構造実験を可能とし、さらに振動台設備を新設したことにより動的な実験検証を可能としました。これにより、より信頼度の高い安心・安全を岡部の製品を通じ社会に提供できるものと考えています。去る2月20日に竣工式を迎え、現在、順調に稼動を開始しています。

名称：岡部総合実験センター

建物規模：敷地面積 8043.4 m² 実験棟延床面積 1920 m² 作業・倉庫棟延床面積 800 m²

設計施工：新日鉄住金エンジニアリング株式会社

コンセプト：本施設の建設コンセプトは下記の3点です。

①スケール（規模）

創業100周年を迎える建設資材総合メーカーとして、最新の試験設備と環境を整えた業界トップクラスの総合実験施設の構築

②テクニカル（技術）

仮設資材の製品開発から構造技術の研究及び新製品開発を躍進させる実験設備の導入

③ヒューマン（人材）

岡部の未来を構築するために技術者が創造性を養い、活動することができる施設

設備概要：総合実験センターの主な試験設備概要は下記の4点です。

①動的試験機

大型の制振ブレースから木造住宅を模した試験体の振動台実験まで幅広い動的試験が実施可能。制振・免震分野へ、より高度で付加価値の高い新製品を投入する。

②静的試験機

従前より保有する設備。ベースパックやOSリングなどの実大の構造実験を行う設備として、耐震関連製品の一層の充実を図る。

③汎用試験機

3000kN万能試験機と1000kN長柱試験機を新たに導入。3000kN万能試験機は高強度素材や大口径の試験体にも対応可能。1000kN長柱試験機は仮設資材の座屈試験から梁部材の曲げ試験など様々な要素実験が実施可能。

④盛土試験場（屋外）

35m×11m（高さ3m）の実大盛土により、現場を模した実大の検証試験などが可能となる。これにより、斜面安定工法や緑化工法に関わる製品開発強化につなげる。

【お問合せ】

経営企画室 TEL03-3624-5119

以上

この場所から 「わくわくする未来の創造」に 挑戦していきます。

Exciting future for next 100years

例えば現場作業をより合理化するために、あるいは巨大地震から人の命と建物の価値を守り抜くために、そして、より強靱な国土を作り上げるために。

岡部株式会社は、過去の蓄積に甘んじることなく、社会と時代が求める価値ある新製品を生みだし続けます。この度竣工した、当総合実験センターは正に「未来への孵化装置」。皆様と一緒にわくわくする未来への製品を創造してまいります。



Integrated experiment center

敷地面積	8043.4m ²
実験棟延床面積	1920m ²
作業・倉庫棟延床面積	800m ²

反力壁・反力床



地下ピット



反力壁

幅 : 12m
高さ : 8m
厚さ : 2m
許容曲げモーメント : 25000kNm
許容せん断力 : 3200kN
定着孔の許容引き抜き耐力 : 600kN (定着板20x20cm)

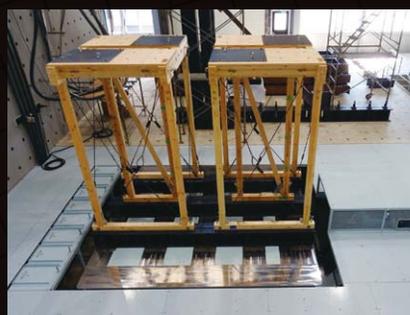
反力床 (1エリア当り)

幅 : 11m
高さ : 5.8m
厚さ : 2m
許容曲げモーメント : 2000kNm/m
許容せん断力 : 800kN/m
定着孔の許容引き抜き耐力 : 600kN (定着板20x20cm)



コントロールルーム

動的実験機

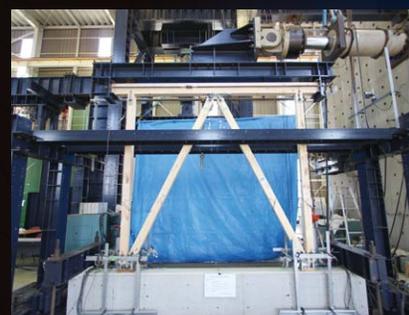


水平一軸振動台
実地震動を再現し、総合的な製品の安全性の確認を行います。



1000kN動的試験機
製品の動的性能の評価及び疲労特性の確認を行います。

静的载荷装置



水平载荷装置
反力壁・反力床との組合せにより、様々な実大加力実験にて構造製品の安全性を確認しています。



2軸载荷装置
軸力、曲げ、せん断の複合加力により構造製品の安全性を確認します。